

蜃気楼を知るには

魚津埋没林博物館

国の特別天然記念物に指定されている「埋没林」と「蜃気楼」、富山湾のふたつの不思議に出会える博物館です。埋没林の樹根が水中保存されている他、光と風が織りなす自然の芸術、蜃気楼についての情報もたくさん！文献や資料なども豊富にあり蜃気楼について詳しく学ぶことができます。

館内の展望台からは、富山湾を見渡せる絶景と共に、海沿いから蜃気楼が見られることも。



〒937-0067 富山県魚津市釈迦堂814
TEL 0765-22-1049 / FAX 0765-23-9105
開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：12月1日から3月15日までの木曜日、年末年始



蜃気楼ロード沿いの ビュースポット

経田漁港からミラージュランドまでの約8kmの湾岸道路は「蜃気楼ロード」と呼ばれており、蜃気楼観測ポイントとして有名です。その中でもおすすめの観測ポイントをご紹介します。



1 蜃気楼展望地点

魚津港周辺の海岸は富山湾を一望できる蜃気楼の名所。春の蜃気楼の時期にはボランティアさんもいらっやいます。

🅇 駐車場：100台以上(周辺駐車場)
🅈 駐輪場：あり

2 大伴家持歌碑

魚津のしんきろうロードにある大伴家持の歌碑。蜃気楼の観測地でもあり、春には上位蜃気楼が望める名所です。

🅇 駐車場：7台
🅈 駐輪場：あり



3 諏訪神社前

たてもん祭りでも知られる諏訪神社は蜃気楼の見える神社としても有名です。神社前に駐車場はないため、サイクリングがおすすめ！

🅇 駐車場：なし
🅈 駐輪場：なし

4 幻想的なしんきろうの眺め

ドライブがてら気軽に立ち寄れます。車を停めてそのまま蜃気楼をゆったり観賞できます。

🅇 駐車場：8台
🅈 駐輪場：あり

5 大町海岸公園(御旅屋跡)

江戸時代に描かれた蜃気楼の絵図に登場することから、「魚津浦の蜃気楼(御旅屋跡)」として国の登録記念物(名勝地)にもなっています。

🅇 駐車場：なし
🅈 駐輪場：なし



蜃気楼が見えない日も楽しめる♪魚津のおすすめスポット

1 海の駅 蜃気楼

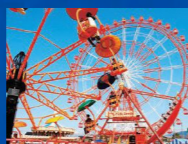
蜃気楼展望スポットにある施設で、魚津港の鮮魚や旬の農産物、銘菓、民芸品などが楽しめます。



〒937-0053 富山県魚津市村木定坊割2500-2
TEL 0765-24-4301 営業時間：9:00～18:00
定休日：毎月第2水曜日(5月・8月・12月は無休)

2 ミラージュランド

県内唯一の遊園地。大観覧車から富山湾と立山連峰を一望でき、遊具やアトラクションも充実しています。



〒937-0857 富山県魚津市三ヶ1181-1
TEL 0765-24-6999
開園時間：10:00～16:30(アトラクションは16時まで)
休園日：水曜日(祝日の場合は翌日) / 冬季休園

3 魚津水族館

日本最古の水族館で、富山にこだわった展示が魅力。春にはホタルイカの展示も行われます。



〒937-0857 富山県魚津市三ヶ1390
TEL 0765-24-4100
営業時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：12月1日～3月15日までの月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月1日)

The Mirage of Uozu

魚津の 蜃気楼

蜃気楼の見える街、魚津。
春に出会う幻想の瞬間。

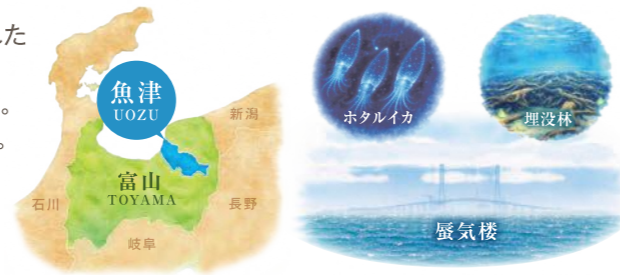


蜃気楼の見える街、魚津

魚津市は、富山県東部に位置し、富山湾と雄大な立山連峰に抱かれた美しい自然景観と、豊かな海と山の幸が魅力の街です。

この地には、訪れる人々を魅了してやまない、ある特別な現象があります。それは、遠くの景色が宙に浮かんだり、伸びたりして見える『蜃気楼』です。

そんな不思議な蜃気楼についてご紹介します。



蜃気楼の仕組みと種類

蜃気楼は、大気中の温度差(=密度差)によって光が屈折し、遠方の風景などが伸びたり反転したりした像が現れる現象で、「上位蜃気楼(春の蜃気楼)」と「下位蜃気楼(冬の蜃気楼)」の2種類に分けられます。

魚津市は、この上位蜃気楼を観測できる、全国でも珍しい場所なのです。

春の蜃気楼(4月～5月に多い)

春の蜃気楼は、実際の風景の上側に、伸びたり反転したりして像が現れる現象。これは、富山湾の海面上の冷たい空気と、その上の暖かい空気の間で急に密度が変わるときに出現します。気温や風の複数条件が揃わないと見ることができず、全国でも珍しい蜃気楼です。

魚津市でも、年間でわずか30回ほどしか観測されません。



富山市岩瀬方面実景



富山市岩瀬方面の蜃気楼

冬の蜃気楼(11月～3月に多い)

冬の蜃気楼は、実際の風景の下側に反転した像が現れます。冷たい空気が暖かい海面に接することで光の屈折が逆になり、魚津市では視界が良ければ、「ほぼ毎日」見られます。



黒部市生地方面実景



黒部市生地方面の蜃気楼

魚津の蜃気楼

魚津市の蜃気楼の歴史は、江戸時代から。

最も古い文献は、寛文9(1669)年に加賀藩の儒学者・沢田宗堅(さわだそうけん)が記した「寛文東行記」で、その後も加賀藩主・前田治脩(はるなが)が参勤の際に描かせた蜃気楼の絵図が残っています。

絵図が描かれた場所(現在の大町海岸公園)は、「魚津浦の蜃気楼(御旅屋跡)」として、国の登録記念物(名勝地関係)となりました。現在は、魚津港周辺を市の名勝「蜃気楼展望地点」に指定しており、春の蜃気楼シーズンには多くの観光客が訪れます。



史料名:魚津蜃気楼之図附喜見城之図断(5枚目)
所蔵館名:金沢市立玉川図書館

魚津で上位蜃気楼を見るコツ

上位蜃気楼が発生しやすいといわれている条件3つ

- ① 時期…3月下旬～6月上旬
- ② 2、3日の晴天が続いた日
- ③ 気温が高く、海岸で穏やかな北北東の風が吹く日

必要な持ち物



双眼鏡

日差しがある日は、帽子や水分補給を!

蜃気楼
ライブカメラ

魚津市では、3方向(富山市・射水市・黒部市)のライブカメラを設置しており、24時間蜃気楼の発生状況を確認することができます。ぜひ右側の二次元コードからアクセスし、蜃気楼ウォッチングに活用してくださいね♪



蜃気楼のランクと過去の出現記録

魚津埋没林博物館では、上位蜃気楼をランク付けして出現記録を公開しています。5段階の内Cランク以上では、市内の防災無線でお知らせを。Bランク以上で花火が打ちあがり、蜃気楼の出現をお知らせしています。

また魚津市外の方にも、上位蜃気楼の出現状況をお知らせする「しんきろう通信」メールマガジンを魚津市が無料で配信しています。

……観測には双眼鏡が必要

……防災無線で出現をお知らせ

……花火の打ち上げで出現をお知らせ

A
ランク



予備知識がない人や、双眼鏡を持たない人でも満足できる蜃気楼。長時間にわたり、複数の方向に現れる鮮明で素晴らしい蜃気楼を指す。



B
ランク



予備知識がない人や、双眼鏡を持たない人でも、大半の人が肉眼で識別できる。Aランクよりも継続時間や方向、鮮明さなど何かの要素が欠けるものを指す。



C
ランク



肉眼で識別できるが、短時間のみ出現・長時間出現しているが、双眼鏡が必要・出現しているが方向が限定的など。惜しい!というものが対象。



D
ランク



双眼鏡を使えば識別できるが、短い時間のみ出現している蜃気楼。事前に蜃気楼に関する知識も必要に。



E
ランク



双眼鏡を使っても識別が困難な蜃気楼。事前に蜃気楼についての知識や経験も必要に。



Check!



しんきろう通信

蜃気楼が発生すると、リアルタイムで配信!
魚津市HPにて無料で登録いただけます。



過去の出現記録

過去の出現記録と蜃気楼ランクは魚津埋没林博物館のHPにて公開中!



ぜひ参考にしてくださいね。

蜃気楼証明書

春の蜃気楼シーズン中に蜃気楼に出会ったら、魚津埋没林博物館にて日付印入りの「蜃気楼証明書」を発行しています。残念ながら見られなかったという方にも「蜃気楼見られんちゃ証」を発行しており、蜃気楼展望地点周辺にいる「しんきろう見させ隊」からもらえます。

旅の思い出に、蜃気楼証明書をぜひゲットしてみてください!

※それぞれ受け取り場所が異なるためご注意ください!



「蜃気楼証明書」はデジタルでも発行しています。

